

Annual Report 2024

中南信用金庫の現況

2024

ミニディスクロージャー兼
業務報告書

2023.4.1～2024.3.31



気さくなおつきあい

 中南信用金庫



ごあいさつ

会員の皆さまには益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素のご愛顧ご支援に、衷心より厚くお礼申し上げます。

この度の令和6年能登半島地震により、亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

令和5年度のわが国経済を顧みますと、物価高が経済活動の重しとなり、回復ペースは緩慢なものにとどまった一方、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に移行、価格設定行動の変化による企業収益の改善、賃金面においては令和5年春季労使交渉（春闘）で30年ぶりとなる高水準の賃上げが実現、令和6年春闘ではさらにそれを上回る見込みとなるなど、経済の正常化やデフレ脱却につながる重要な変化が見られた1年でした。

こうした中、日本銀行は2%の「物価安定の目標」が持続的・安定的に実現していくことが見通せる状況に至ったと判断、令和6年3月19日の金融政策決定会合において、マイナス金利政策と「長短金利操作付き量的・質的金融緩和（イールドカーブ・コントロール）」を同時撤廃するなど、金融政策の枠組みの見直しを決定しました。今後については「当面、緩和的な金融環境が継続する」と示していますが、政策修正を受け、多くの金融機関で預金金利が引き上げられるなど、「金利のある世界」に向けた影響はすでに現れ始めており、追加利上げの有無をはじめ、動向が注目されています。金融庁は金融機関に対し、収益性向上に向けた様々な工夫を促すとともに、事業者のお客さまに対しては資金繰り支援にとどまらず、経営改善や事業再生支援など、実情に応じた支援の徹底を求めています。

さて、今後を展望しますと、地域金融機関を取り巻く環境は、長きにわたり続いた緩和的な金融環境が大きな分岐点を迎え、さらに人口減少などの構造的要因も相まって、先行きの不透明感を増していくとみられます。そうした中で、私どもをはじめ各金融機関は、おかれた環境、経営理念・経営資源等に応じた持続可能なビジネスモデルを構築し、将来にわたり金融仲介機能を円滑に発揮し、地域経済を適切に支えるための経営基盤の強化が求められています。

このような環境下、当金庫は、経営理念とする『地域共創』の実現に向け、これからも地元の金融機関として、健全経営に努め、リスク特性を踏まえたリスク管理態勢の充実及びコンプライアンス（法令等遵守）態勢の徹底、お取引先企業さまへの一層の支援強化を図ることで、地域の皆さまからの信頼を一段と高めるとともに、常に地域やお客さまの視点に立って経営を見つめ、心のこもった金融サービスを通じ、地域の繁栄と創造に貢献できるよう努めてまいりますので、今後とも一層のお引立てとご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年6月

中南信用金庫

理事長 大藤 勉

経営理念

『地域共創』

私たちは、心のこもった金融サービスを通じ、
地域の繁栄と創造に貢献します。

経営方針

お客さまの視点に立った経営を目指します。
健全経営を維持し、地域社会に貢献します。
創造性豊かで行動力に富む人材を育成します。

行動基準

五つの創造

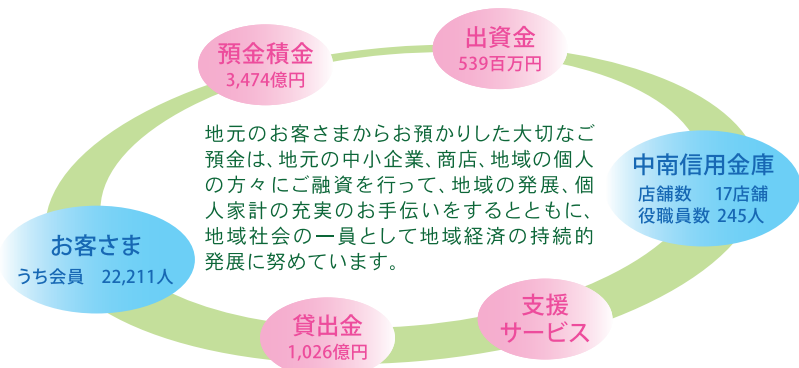
価値創造…お客さまと金庫にとって価値のある仕事をしよう。
信頼創造…お客さまから信頼される仕事をしよう。
地域創造…地域に役立つ仕事をしよう。
未来創造…未来へのビジョンを持って仕事をしよう。
幸福創造…お客さまと共に幸せになろう。

当金庫の概要

創	立	昭和7年11月22日
本	店	中郡大磯町大磯1133番地の1
店	舗	数 17店舗
役	職	員 数 245人
会	員	数 22,211人
出	資	金 539,600千円
預	金	残 高 3,474億31百万円
貸	出	金 残 高 1,026億75百万円

(令和6年3月31日現在)

地域に信頼され期待される金庫を目指します。



財務の状況

貸借対照表 〈令和6年3月31日現在〉

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現 金	3,316	預 金 積 金	347,431
預 け 金	126,086	当 座 預 金	3,519
買 入 金 銭 債 権	104	普 通 預 金	175,102
有 価 証 券	133,930	貯 蓄 預 金	2,191
国 債	1,459	通 知 預 金	543
地 方 債	1,119	定 期 預 金	156,069
社 債	71,355	定 期 積 金	8,539
株 式	327	そ の 他 の 預 金	1,466
そ の 他 の 証 券	59,668	借 用 金	3,816
貸 出 金	102,675	借 入 金	3,816
割 引 手 形	200	そ の 他 負 債	744
手 形 貸 付	3,726	未 決 済 為 替 借	222
証 書 貸 付	97,616	未 払 費 用	58
当 座 貸 越	1,131	給 付 補 填 備 金	2
そ の 他 資 産	2,227	未 払 法 人 税 等	142
未 決 済 為 替 貸	177	未 払 消 費 税 等	0
信 金 中 金 出 資 金	1,571	前 受 収 益	47
未 収 収 益	444	払 戻 未 済 金	26
そ の 他 の 資 産	34	払 戻 未 済 持 分	26
有 形 固 定 資 産	2,762	職 員 預 り 金	143
建 物	732	資 産 除 去 債 務	14
土 地	1,705	そ の 他 の 負 債	59
建 設 仮 勘 定	52	賞 与 引 当 金	170
その他の有形固定資産	272	役 員 賞 与 引 当 金	7
無 形 固 定 資 産	54	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	80
ソ フ ト ウ ェ ア	9	睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	0
その他の無形固定資産	45	偶 発 損 失 引 当 金	103
前 払 年 金 費 用	735	債 務 保 証	626
繰 延 税 金 資 産	561	負 債 の 部 合 計	352,982
債 務 保 証 見 返	626	(純資産の部)	
貸 倒 引 当 金	△ 506	出 資 金	539
(うち個別貸倒引当金)	(△ 415)	普 通 出 資 金	539
		利 益 剰 余 金	20,582
		利 益 準 備 金	565
		そ の 他 利 益 剰 余 金	20,016
		特 別 積 立 金	19,400
		当 期 未 処 分 剰 余 金	616
		処 分 未 済 持 分	△ 17
		会 員 勘 定 合 計	21,104
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△ 1,511
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△ 1,511
		純 資 産 の 部 合 計	19,593
資 産 の 部 合 計	372,575	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	372,575

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

財務の状況

損益計算書 < 第76期 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで >

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
経 常 収 益	3,815,805	特 別 利 益	—
資金運用収益	3,342,060	特 別 損 失	26,559
貸出金利息	1,648,858	固定資産処分損	82
預け金利息	254,571	減 損 損 失	26,477
有価証券利息配当金	1,406,560	税引前当期純利益	839,771
その他の受入利息	32,070	法人税、住民税及び事業税	223,161
役務取引等収益	329,969	法人税等調整額	19,719
受入為替手数料	155,406	法人税等合計	242,881
その他の役務収益	174,562	当期純利益	596,889
その他業務収益	49,520	繰越金(当期首残高)	19,617
国債等債券売却益	20,820	当期末処分剰余金	616,506
その他の業務収益	28,700		
その他経常収益	94,254		
償却債権取立益	420		
その他の経常収益	93,834		
経 常 費 用	2,949,474		
資金調達費用	33,942		
預金利息	32,113		
給付補填備金繰入額	700		
借入金利息	395		
その他の支払利息	731		
役務取引等費用	290,282		
支払為替手数料	48,888		
その他の役務費用	241,393		
その他業務費用	55,067		
国債等債券売却損	9,555		
国債等債券償還損	45,500		
その他の業務費用	11		
経 費	2,457,096		
人 件 費	1,719,515		
物 件 費	658,208		
税 金	79,372		
その他経常費用	113,086		
貸倒引当金繰入額	41,567		
その他の経常費用	71,518		
経 常 利 益	866,330		

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

財務の状況

剰余金処分計算書 < 第76期 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで >

(単位: 円)

科 目	金 額
当 期 未 処 分 剰 余 金	616,506,695
積 立 金 取 崩 額	26,240,500
利 益 準 備 金 取 崩 額	26,240,500
剰 余 金 処 分 額	630,550,112
普通出資に対する配当金	(年2%) 10,550,112
特 別 積 立 金	620,000,000
繰 越 金 (当 期 末 残 高)	12,197,083

上記のとおりであります。

中南信用金庫

理 事 長 大 藤 勉	理 事 秋 澤 芳 雄
常務理事 岡 崎 良 介	理 事 西 村 好 男
常勤理事 秋 山 和 紀	理 事 五十嵐 守
常勤理事 岩 内 賢 次	理 事 二 見 泰 弘
常勤理事 小清水 吉 宏	理 事 佐 藤 豊 明

上記各項精査の結果、その正確適正であることを認めます。

令和6年6月

常 勤 監 事 大 庭 和 久
監事(員外) 西 方 政 雄
監 事 安 藤 十 藏

なお、太陽有限責任監査法人の監査の結果、適法と認められています。

庶務の概要

◆総代会、理事会、その他

通常総代会	令和5年6月20日開催
理事会	毎月1回定例開催
内部定例監査	5月上旬に実施

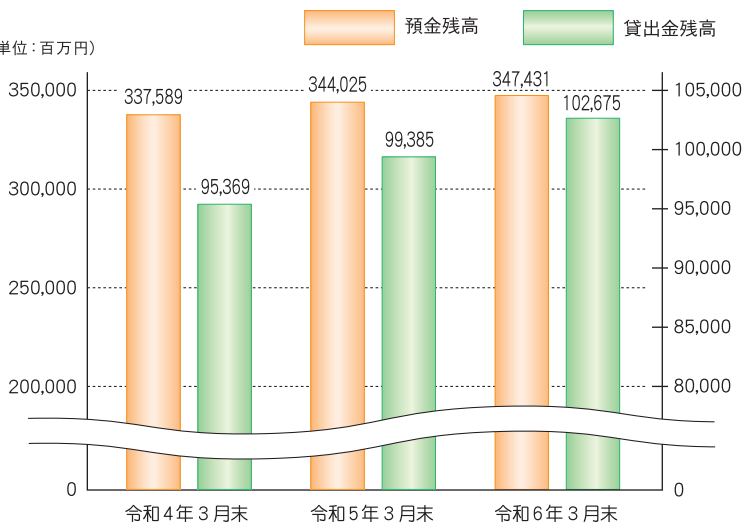
◆登記、認可、その他

令和5年4月10日	出資の総口数及び払込済出資総額の変更登記。
-----------	-----------------------

預金・貸出金の状況

預金及び貸出金の推移

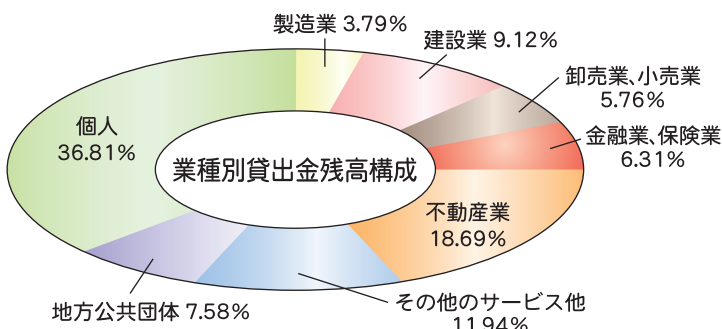
(単位：百万円)



貸出金業種別内訳 〈令和6年3月末〉

(単位：百万円)

業 種 区 分	貸 出 残 高
製造業	3,893
農業、林業	358
漁業	1
鉱業、採石業、砂利採取業	177
建設業	9,374
電気・ガス・熱供給・水道業	—
情報通信業	89
運輸業、郵便業	1,713
卸売業、小売業	5,918
金融業、保険業	6,485
不動産業	19,195
物品賃貸業	92
学術研究、専門・技術サービス業	328
宿泊業	7
飲食業	1,646
生活関連サービス業、娯楽業	718
教育、学習支援業	462
医療、福祉	3,342
その他のサービス	3,283
小計	57,089
地方公共団体	7,787
個人	37,797
合 計	102,675



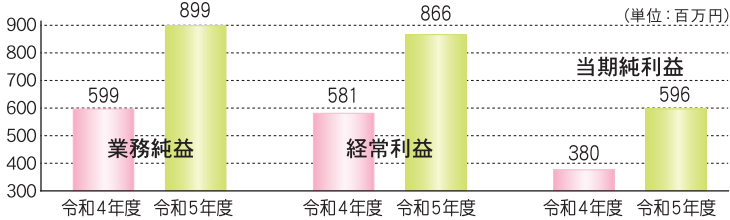
(注) 1. 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しています。

(注) 2. 構成比は小数点以下第3位を切り捨てて表示しています。

収益の状況

利益の状況

本業の利益を示す業務純益は、前期比 2 億 99 百万円増加の 8 億 99 百万円でした。また、経常利益は、前期比 2 億 84 百万円増加の 8 億 66 百万円、最終の損益である当期純利益は前期比 2 億 16 百万円増加の 5 億 96 百万円でした。



有価証券の時価情報

(単位: 百万円)

	令和 5 年 3 月 末				令和 6 年 3 月 末			
	時価	評価差額	うち益	うち損	時価	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	134,249	△2,758	1,309	4,067	133,930	△2,089	1,241	3,330
株 式	241	39	41	2	327	105	107	1
債 券	72,946	△64	678	742	73,934	△497	357	855
その他	61,062	△2,733	589	3,322	59,668	△1,696	777	2,473

(注) 1. 「評価差額」及び「含み損益」は、帳簿価額（償却原価法適用後）と時価との差額を記載しています。
(注) 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
(注) 3. 令和5年3月末及び令和6年3月末の満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式の残高はありません。

自己資本比率

自己資本比率は、資産額に対する自己資本額の比率であり、「早期是正措置」の発動基準（4%）であることからご理解いただけますように、金融機関にとって、経営の健全性を示す非常に重要な指標の一つです。

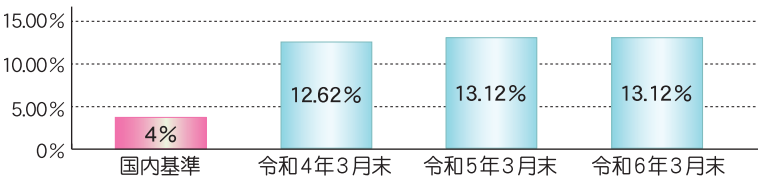
当金庫の自己資本比率は、令和 5 年度末現在で **13.12%**と高い水準にあります。

自己資本の構成に関する事項

(単位: 百万円)

項 目	令和4年度	令和5年度
出資金及び資本剰余金の額	565	539
利益剰余金の額	19,996	20,582
外部流出予定額(△)	11	10
一般貸倒引当金コア資本算入額	86	90
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	20,624	21,185
無形固定資産（モーゲージサービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	42	39
前払年金費用の額	417	532
信用金庫連合会の対象普通出資等の額	—	35
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	460	607
自己資本の額((イ)-(ロ)) (ハ)	20,163	20,577
信用リスク・アセットの額の合計額	147,241	150,346
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	6,435	6,405
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	153,677	156,752
自己資本比率((ハ)/(ニ))	13.12%	13.12%

自己資本比率（国内基準）の推移



(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第21号）」に基づき算出しています。なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しています。

不良債権の状況

当金庫では、地域に密着した金融機関として、地元企業と経済の発展のためにお役に立つ健全な融資を積極的に推進しています。

信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位：百万円)

区 分		開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証 等による 回収見込額 (c)	貸倒 引当金 (d)	保全率 (b) / (a)	引当率 (d) / (a-c)
破産更生債権及び これらに準ずる債権	令和4年度	180	180	177	3	100.00%	100.00%
	令和5年度	372	372	359	12	100.00%	100.00%
危険債権	令和4年度	2,115	2,080	1,711	369	98.34%	91.31%
	令和5年度	2,283	2,245	1,841	403	98.31%	91.30%
要管理債権	令和4年度	68	52	52	0	77.09%	2.22%
	令和5年度	126	69	69	0	55.28%	1.12%
三月以上 延滞債権	令和4年度	0	0	0	—	100.00%	—
	令和5年度	82	32	31	0	39.32%	0.78%
貸出条件 緩和債権	令和4年度	67	52	51	0	76.91%	2.22%
	令和5年度	43	37	37	0	85.15%	3.65%
不良債権合計 (A)	令和4年度	2,364	2,314	1,941	372	97.85%	88.01%
	令和5年度	2,782	2,687	2,270	416	96.58%	81.44%
正常債権 (B)	令和4年度	97,744					
	令和5年度	100,589					
総与信残高 (A) + (B)	令和4年度	100,109					
	令和5年度	103,372					

※信用金庫法の改正により、信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権を一本化しています。

(注) 1. 「貸倒引当金」について、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」は個別貸倒引当金額を、「要管理債権」は一般貸倒引当金額を計上しています。

「貸倒引当金」は、貸倒引当金総額ではなく、実際に信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権に対して引当てた金額に変更しているため、貸借対照表の残高より少なくなっています。

(注) 2. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」が将来において全額損失となるわけではありません。

これらの債権につきましては、預金積金、有価証券、不動産などの確実な担保や信用保証協会などの保証機関により、保全を図っています。また、万一貸出金が回収できない場合に備えて、「貸倒引当金」も引き当てています。

さらに、当金庫では、自己資本のなかに内部留保の累積としての特別積立金(200億円)も十分にあり備えは万全です。

トピックス

- 4月3日 ・株式会社クレディセゾン保証付住宅ローンの取扱いを開始しました。
- ・女性職員の制服を廃止しました。
- 5月29日 ・厚生労働大臣より「ユースエール認定企業」として再認定を受けました。
- 6月1日 ・空き家対策に係るローンとして、「ちゅうなん移住・定住応援住宅ローン」、「ちゅうなん空き家対策支援ローン」、「ちゅうなん空き家・空き店舗活用ローン」の取扱いを開始しました。
- 6月6日 ・ホームページをリニューアルしました。
- 10月30日 ・神奈川県が発行する「グリーンボンド」へ投資しました。
- 2月1日 ・スマートフォン決済サービス「Bank Pay」の取扱いを開始しました。
- 2月13日 ・法人のお客さま向けスマートフォンアプリ「しんきん法人バンキングアプリ」の取扱いを開始しました。
- 2月14日 ・CO2排出量の可視化から削減までの、脱炭素に係る総合的なサポートを行っているe-dash株式会社と業務提携しました。
- 2月21日 ・少額の個人間送金サービス「ことら送金」の取扱いを開始しました。

地域貢献に対する取り組み

地域に根ざした信用金庫として、地域社会の発展に貢献することが大切であると考え取り組んでいます。

■ 地域貢献活動（令和5年4月から令和6年3月まで）

4月4日～28日

中栄信用金庫との業務提携 30 周年記念事業として、「旧中郡の古のつながりを紡ぐグルメ観光マップ」を作成し、各自治体へ寄贈しました（4月4日／大磯町・二宮町、4月6日／秦野市、4月10日／伊勢原市、4月28日／平塚市）。

6月15日

「信用金庫の日」にあわせ、献血・募金活動を実施しました。

7月1日～9月30日

茅ヶ崎支店にて「アロハビズ」を実施しました。

8月10日

「本店納涼子どもマンガ大会」を開催しました。

9月13日

神奈川県食品の販路拡大等を目的とした展示・商談会「2023 OUR KANAGAWA 私たちの神奈川」を後援しました。

9月20日

大磯町と、移住・定住や空き家対策に係る「包括連携に関する協定」を締結しました。

9月30日、10月1日

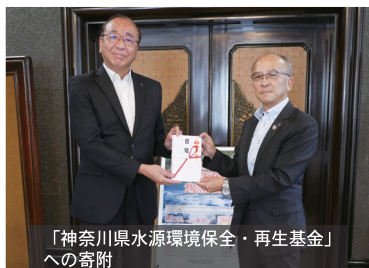
「第 56 回伊勢原観光道灌まつり」に参加しました。

10月2日

神奈川県水源環境保全・再生基金へ「かながわ水源事業応援定期預金」に係る寄附をしました（寄附額：48 万円）。



「旧中郡の古のつながりを紡ぐグルメ観光マップ」の寄贈



「神奈川県水源環境保全・再生基金」への寄附

10月29日

小学生を対象とした職業体験イベント「ぶちおいそ 2023」に金融機関ブースとして参加しました。

11月3日

「第 29 回たちばなファミリーフェスティバル」に参加しました。

11月11日

「大磯まつり」に参加しました。

11月19日

「第 25 回湘南にのみやふるさとまつり」に参加しました。

11月20～22日、24日

「年金友の会」日帰り旅行会を実施しました。

1月28日

「第 70 回大磯一周駅伝大会」に参加しました。



「ぶちおいそ2023」への参加



「大磯まつり」への参加

経営情報センターについて

経営情報センターは、企業経営や暮らしのなかで起こる、さまざまなご相談にお応えするために生まれた地域の皆さまの相談窓口です。ご相談はすべて無料で承っています。お気軽にご来店、お問い合わせください。

無料相談

お気軽にご来店、
お問い合わせください。

中小企業・個人事業者・創業希望者さまなどには…

- 庫内中小企業診断士による
経営相談や企業診断、各種情報提供

地域のすべてのお客さまのために…

- 顧問弁護士による **法律相談** 毎月第2木曜日:予約制
- 顧問税理士による **税務相談** 毎月第2・4水曜日:予約制
- 当金庫提携先 株式会社朝日信託による **相続・遺言相談**
随時個別開催:予約制



ご相談受付

 0120-775-598

経営情報センター
(伊勢原支店2階)

ちゅうなんがもっと身近に、もっと便利に

しんきん バンキングアプリ

スマホアプリで残高・入出金明細が確認できます！

来店不要

スマホで簡単登録

ご利用無料



店舗のごあんない

本部	中郡大磯町大磯1133番地の1	(0463)61-2615代
経営情報センター	伊勢原市桜台1丁目16番12号	☎(0120)775-598
本店営業部	中郡大磯町大磯1133番地の1	(0463)61-7200代
二宮支店	中郡二宮町二宮899番地8	(0463)71-1251代
下中支店	小田原市中村原734番地	(0465)43-0631代
国府支店	中郡大磯町月京5番3号	(0463)71-2332代
旭支店	平塚市徳延437番地	(0463)32-3250代
四之宮支店	平塚市四之宮2丁目15番1号	(0463)22-5155代
伊勢原支店	伊勢原市桜台1丁目16番12号	(0463)93-2351代
平塚支店	平塚市見附町32番9号	(0463)34-5222代
茅ヶ崎支店	茅ヶ崎市元町4番19号	(0467)87-2424代
高森支店	伊勢原市高森3丁目3番19号	(0463)92-1151代
厚木南支店	厚木市旭町4丁目4番19号	(046)228-1121代
中井支店	足柄上郡中井町田中1040番地	(0465)81-2621代
さかま支店	平塚市根坂間246番地の11	(0463)31-5880代
高麗支店	中郡大磯町高麗3丁目2番34号	(0463)31-3211代
中里支店	中郡二宮町中里2丁目3番34号	(0463)71-7272代
中原支店	平塚市中原1丁目8番9号	(0463)30-6711代
林支店	厚木市林5丁目1番21号	(046)296-3100代

店外キャッシュサービスコーナー

本店営業部	大磯町役場出張所(大磯町役場内)
本店営業部	大磯駅出張所
二宮支店	二宮駅出張所
中井支店	中井町役場出張所(中井町役場内)
下中支店	しまむらストアーたちばな店出張所
旭支店	しまむらストアー長持店出張所
四之宮支店	しまむらストアー田村店出張所
さかま支店	しまむらストアー旭店出張所

ちゅうなんテレホンバンキング ☎ 0120-081-290 (通話料無料)

携帯電話からは 03-5783-3099 (通話料有料)

ホームページ <https://www.shinkin.co.jp/chunan/>

ATM手数料〇円宣言

当金庫ATM入出金手数料は365日無料です。

お客さまサービスの一環として、当金庫のカードで当金庫ATMをご利用の場合に限り、平日・土曜・日曜・祝日すべてにおいてATM入出金手数料が無料でご利用いただけます。